

TALK & TALK

市民談話室

日ごろ考えていることや身の回りの出来事などを、500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただきます。あて先は広報広聴係（〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所企画調整課）です。



金子則子 (館)

おばあちゃん私の百科事典

世間知らずの私は、病気をしながらおさら世間に疎くなってきたようです。外に出ないため、人との接触が少なくせいであるのは分かっているのですが……

でも幸いにも世間に広く、また経験豊富なおばあちゃんにそばにいて、いろいろ自分の体験してきたことを教えてくれます。だから勉強になるし、また話題も豊富で、楽しい日々を過ごしています。

おばあちゃんに若いとき、身内の人を何人も看病してきたらしく、経験からか、または家庭医療の本を見てきたためか、病気にことについて詳しいのです。私が倒れたときも、すぐ病院に運ばれたのですが、大したことではないと、そのときは歩いて帰ってきました。しかし、倒れたときにいびきをかいたのが気になったらしく、納得がいかないからと大きな病院で検査してもらいました。その結果、手術が早かったために生きていられるのだと思うと、おばあちゃんに感謝しています。

分でもお茶を飲みながら、人との付き合い方、季節の料理などを、かゆいところに手の届くように教えてくれます。だから、私にとっておばあちゃん百科事典のような存在です。でも、私は頭で分かっているけど、実際には半分も行動できていないような気がして残念で仕方ありません。今、おばあちゃんも私も、歩け歩けのリハビリで一生懸命です。



堀内イキ (小坂)

私は知りたい 農政やバイパス問題

「コメ緊急輸入百万トン」「米、案から主食用七十万トン」――新聞紙上でこんな記事を読むと、何かしらふに落ちない疑惑がわいてきます。私たちが昭和一代生まれの世代にとっては、戦争中を思い出さずにはおられません。何もかも「勝つために、勝つために」という言葉を真に受けて、苦勞に耐えてきました。それなのに、敗戦を迎えたという惨めな思いを出て持っております。



た。生産意欲をなくすほどの苦惱に陥ってきた農政の在り方に、だまされたときえ感じます。幸い私の住む集落は非農家の私が聞くと、平年作とはいえないまでも農家の表情は明るく、収穫の秋を迎えています。

この恵まれた蒲原平野の自然もあと何年で変わるのか、忍び寄る自然破壊の波に講ずるすべもなく、憂えています。村を少し出れば、どこもかしこも造成地だらけ。わが村の静かな田園風景も、今バイパス問題の中心になっていきます。素晴らしい整備された田が、バイパスの犠牲になることを強要されています。



橋本典子 (水道町)

身近な遊歩道 いくつ知っていますか

敬老の日も近いある日、母と一緒に健康診断を受け、病院へ行ききました。結果は年齢相応の老化ということ。心掛けることとして①規則正しい生活②食事は薄味、腹八分目③歩くこと(一日に二千歩から五千歩くらい)――を言い渡されました。

①は毎日の生活の中で、自覚しながら少しずつ慣れていくこととして、問題は③です。自転車の苦手な母には、歩くことしかなかったのですが、「今はおっくうになった」とのこと、まずは道探し。散歩に適した車通りが少なく、景色が良く、静かな長い道です。

市街地に住んでいるので、まず中ノ川の上手に着目。測ってみると、私の足でゆっくりと歩いてみました。風見橋から白根橋を回るコースはほぼ一キロメートル、一千七百五十歩で十七分、白根橋から味方橋の方は二・五キロメートル、四千七百歩で四十分、風見橋から富月橋を回るコースは一・五キロメートル、二千四百五十歩で二十五分でした。どのコースも右側、左側に遠くの山々がとても美しく、道沿いにはクリ



夏川陽子 (蔵主)

地区民運動会の日程 せひ一考を

七月十八日に私たち小林地区の地区民運動会がありました。でも、あいにくの雨で、屋内でほんの二種目くらいしかできませんでした。この七月の第三日曜日という日程は、どう考えても梅雨真っ盛りのころです。何年前までは八月の第一日曜だったのですが、農作業(果樹)

の实やカキの实が日一日と大きくなり、色付いていくのが分かります。時間はラッシュ時を避けて午後一時半から四時ごろに、そして晴れや曇りの日を選び、あまり急がず自分の歩調で歩くというのを、母から心掛けてもらうことにしました。あとは、だれか声を掛けてくださる方がいれば、初めの一歩が踏み出せると思います。



丸山ヨリ (西笠巻新田)

楽しかった バイベキユー大会

私たちの団地はできてから二年もたっていない所で、ほとんどが新潟市から転居してきた人ではないかと思われまふ。

大型台風が過ぎた八月初めの日曜日に、隣の団地の皆さんと団地同士の交流を兼ねてバイベキユー大会が行われました。小学生のお子さんを

お持ちのお母さん方の発案です。お父さん方、お母さん方の楽しい会話、子供さんたちの運動会のようになにげやかさで、みんなの明るい笑顔がいつぱい一日を過ごしました。ただ、中年の方の参加が一人、少し寂しかった。来年もあるようなので、楽しみにしております。ありがとうございました。

市民文芸

俳句

送電塔大跨ぎして大花野 山田 栄一
大花野波のごと来る雲の影 小野 義之
ひと息に日は沈みたる花野かな 真島つぎえ
牧場のサイロの高し大花野 間島喜代子
花野来て吹けぬ口笛真似て見る 小林富沙子
しばらくは花野の中のバスの旅 金子 千代
サロベツの木道めぐる花野かな 塚本 静子
花野来て目玉の輝き日和かな 名古屋蒼穹
主峰なき尾根ならかに大花野 間島 秀穂
(以上かまつか新飯田俳句会)
毛見のいふ作況指甘かりし 猪股 南魚
ヒロインになりきって読む秋燈下 小林 光子
朝霧のことに木の間を漂へる 古川 綾
辞書引いて読む古文書や夜の秋 和泉 伸子
銀漢の燃え村悉く眠りをり 公條 雪夫
祖父よりの草座布団も結びし 山田 孝
灯笼の絵の色褪せて灯りたる 山口 初野
月高く踊り太鼓の高まりし 堀内ナナ子
鼻筋に白粉塗って祭の子 笠原 里津
(以上大風会)
通夜晩枕の本にこぼろぎ泣く 玉木 長吉

短歌

こぼろぎの姿見えねどほぼそと 啼く声きくに晩秋を知る 小出よしの
待ちていし雨くる予報に老い出て 青首大根ひたすらに詩く 織田 護
コンバインの音も途絶えて野の全て 刈田となりて速き黄昏 中村 京
肌寒し越後山脈紅葉始む 日増しに暮こがらし吹くよ 長谷川久二
冷害か好物の茄子漬噛み切れず 亡き母を偲びつ小切りて食ふも 小出熊四郎

川柳

晩酌は今夜限り胃が意見 早川 英男
腹の中読まれてからの苦い酒 吉川 彰
ささやかな年金でする薄化粧 米野 光雄
これきしの隙も魔の手は逃さない 山岡 フミ
清貧の腹でサンマが消化する 今井 七郎
スーッとびしと決めて紳士の顔をす 織田 福治
波風が嫌で妥協して仕舞う 織田 セツ
ない袖を見栄が振らせる奉賀帳 後藤マサノ
蝶を待つ花の動悸が聞こえそう 佐藤トミノ
口惜しさを腹に納めてからの闇 佐藤 ヨキ
今夜からあなたの姓になつて寝る 高橋祐四雄
国際化腹芸などは通じない 竹石 甚五
回歸した鮭が母なる川のぼる 田中 成子
帳尻が合わぬ今夜の影法師 田村 恒夫
音声を替えて政治家本音吐き 中村 尚治
鈴生りの柿が悲しい過疎の村 西条 ムラ
(以上白根川柳文芸会)
古稀集い死に損ねたとジョーク飛ば 大井 義雄